

「教科への問い合わせ」

回答（国語科）

※質問の文章は、多くの生徒にわかりやすくするために、一部改めています。

Q 1 語句を調べると、意味がいくつも出てきます。だいたいどれくらいの数の意味を押しえればいいですか。

A 1 古文単語は 400 ～ 500 語を覚えることが求められます。英単語と比べればかなり少ないのですが、実は大きな壁があります。それは、重要な古文単語には多くの意味があるということです。古語辞典を引いたとき、大きめの見出しで出ている語（重要語）については、説明されている意味について、しっかりと理解する必要があります。

ただし、多くの意味を持つ語であっても、たいていは「基本的な意味（イメージ）」があります。だから、これを頭に入れておけば、あとは文脈から意味を当てはめていくことができます。

つまり、多くの意味を持つ語については、その語のもつ「基本的な意味（イメージ）」を理解するとよいでしょう。

Q 2 文法書 30 ページ「動詞の音便」について、バ行四段活用とマ行四段活用は、ウ音便、撥音便^{はつ}どちらにも含まれているが、見分ける方法がありますか？ それとも問題に出てくるごとに覚えていくものですか？

A 2 そんなに難しく考える必要はありません。

「ウ」の音に変化していれば「ウ音便」です。「ン」の音に変化していれば「撥音便」です。見ればすぐにわかります。30 ページの表にある例を確認してください。

Q 3 大河ドラマで古文は勉強できますか？

A 3 古典作品の背景理解に、大いに役に立つことでしょう。ただし、ドラマを見ているだけでは力はないでしょう。ドラマをきっかけにして、自分でいろいろと調べていくことが必要です。その意味で日本史の勉強は重要です。大河ドラマを見て、歴史的な出来事に興味を持ったら、因果関係を含めて確認すれば、古文の勉強にもなることでしょう。

文化的な側面も重要です。室内調度品や小道具類へも注目したいものです。「伊勢物語」など古典物語文学のモチーフは、日本美術で繰りかえし用いられています。登場人物が使っている日用雑貨の名称なども、知識があると古文の理解が早まることでしょう。

Q 4 文法書には、動詞の後に「べし」がつくとき、その動詞は終止形になると書いてあるが、「しかり」という動詞が「しかる べし」というように連体形になるのはなぜですか。

A 4 助動詞は、その上に来る活用語の活用形が決まっています。文法書の表紙の裏面にある助動詞一覧表は、この分類でまとめられています。確認してください。助動詞「べし」の場合は終止形が来ます。ただし、終止形に接続する助動詞はどれも、「ラ変型」に活用する語には、連体形に接続します（つまり、「り」の後には付かず、「る」の後に付く）。

「しかり」（然り）という語は、副詞「然^{しか}」（「そのように」「そのとおり」）にラ行変格活用動詞の「あり」が付いてできた語です。だから活用の種類もラ行変格活用です。そこで、助動詞「べし」の上には終止形ではなくて連体形の「しかる」が来るというわけです。

Q 5 動詞の活用の「確認テスト」3枚目の、2の2「いづら、猫は。こちゐて来」の「来」が終止形ではなく、命令形なのはなぜですか。訳では「おいで」とあり、命令形には思えないのですが…。

A 5 文末にある活用語は、係り結びになっていなければ、基本的には終止形か命令形です。終止形か命令形かは、文脈から判断します。

「いづら、猫は。」の訳は「どこへ行ったの、猫は。」です。「こちゐて来」の「こちゐて」は、「こちらに連れて」という意味です。「ゐ」は、ここではワ行上一段活用動詞「率る」（連用形）。ここで「来」を終止形と考えると、訳は「こちらに連れて来る」となり、何だかおかしいですね。やはり命令形で考えるべきでしょう。訳は、ここではやさしく呼びかけているので、「連れておいで」となっていますが、「連れてきなさい」とすることも可能です。

Q 6 教科書8ページ「検非違使忠明」本文2行目「清水の橋殿にして、京童部といさかひをしけり。」の「して」が副助詞なのがわからなかったです。サ変動詞「す」の連用形「し」と接続助詞「て」なのか？ たぶん「で」という意味だから格助詞か？と思っていましたが違い……理解できませんでした。説明をお願いします。

A 6 古典文法については、まずは動詞の活用を自学してくださいという指示を出して、その解説もまだ授業の形ではできていません。それなのに、助詞の解釈にまで踏みこんでいて、さすがです。

実はここでの「して」については、解釈の分かれるところです。副助詞として考えるのがよいかとは思いますが、質問者の推論のように考える説もあります。

副助詞の「して」は文法書には出ていません。古語辞典で「して」を引くと、副助

詞の用法が説明されています（旺文社全訳古語辞典）。意味を強めたり、はっきりさせたりする働きがあります。ここでは後者として考え、直前の、場所を表す格助詞「に」と併せて「で」と意味を取ればよいでしょう。つまり、「清水の橋殿で」となります。

Q 7 現代文の質問です。3ステップオリジナル問題集7ページの問四です。模範解答では、「溺れるように泳ぐ省吾を、…」となっていますが、「苦しくても頑張る省吾をたたえ、応援する気持ち。」(23字)と記述しました。この回答はどうでしょうか？4点か8点か迷っています。

A 7 現代文の記述問題の自己採点は、初めは悩むことが多いと思います。

「「来い！ ここまで来い！」という言葉には「ボク」のどのような気持ちが表れているか、省吾の様子を踏まえて、二十五字以内で書け。」という問題でした。レースに一番でゴールした「ボク」が規則を破ってまで省吾の応援に行くのはなぜか。それはなりふり構わず自分の限界に挑戦する姿に心を打たれたからです。その「省吾の様子」はといえば、「ほとんど溺れているように泳いで」いるわけです。ここはやはり、溺れるようにという言葉を外すわけにはいかないでしょう。質問者の「苦しくても頑張る」では省吾の様子具体性に欠けると思われます。厳しいかもしれませんが、－4点。

後半部分については、4点でいいと思います。ただし、「省吾をたたえ」はどうでしょうか。「来い！」という言葉から「たたえる」というニュアンスを読み取るのは少し無理があるようにも思います。

Q 8 3ステップ問題集は先に進めていっていいですか？

A 8 はい。先に進めていっても構いません。

Q 9 現代文は、漢字以外に予習をしておいたらよいことは何ですか？

A 9 本文の最後に付いている「学習の手引き」の問題について考え、解答をノートにまとめてください。

さらに余裕があれば、本文の内容の200字要約に挑戦してください。

Q 10 国語の残りの教材は休校明けに配られると書いてありましたが、もう少し早く受けとることはできないでしょうか。古文の単語の勉強がしたいので、郵送などで送っていただけるとありがたいです。

A 10 『古文単語500プラス』ですね。申し訳ないのですが、夏休み前の配付予定です。

まずは古語辞典に慣れることが大切です。重要な語句の意味については、古語辞典で意味をしっかりと確認するという段階を経てから、古文単語集を使うようにしてください。

古典文法「演習ノート」の奇数ページ左端には、問題文中の重要語が挙げられています。まずは、これらの意味を古語辞典で調べ、理解し、覚えてください。

Q 11 国語の提出物をルーズリーフにやっています。提出する時は教材ごとに区切ってファイルなどに挟んで出しているのですか？

A 11 既に何度か受けた内容の質問です。

古典文法の「演習ノート」や現代文・古文の問題集等について、レポート用紙等に学習した内容を書いて提出することは構いません。

ただし、次の3点をお願いします。

(1) 用紙のサイズはB5とします。

(2) 表紙を付けてください。

表紙には課題名、学年、クラス、出席番号、氏名を明記してください。

(3) 用紙はホッチキス等で必ず留めてください。